

第4表 かながきの例

可	不	可	不	可	不
あいまって	相俟って	くふう	工夫	(する)とき	(する)時
あえて	敢て	…くらい	位	どこ	何処
あたかも	恰も	ぐあい	具合, 工合	どの, どれ	何の
あと	後	ここ	此处, 茲, 爰	…ところ	所, 処
あまりに	余りに	…こと	事	とても	迎も
当たる, 当てる	当る, 充る	ことさら	更	とりあえず	取敢えず
あらかじめ	予め	ことに	殊に	ともに	共に
あらゆる	凡, 総, 凡有	この, これ	此, 是, 之	ないし	乃至
ある	在る, 有る	ころ	頃	なお	尚, 猶
あるいは	或は	ごとく	如く	なかな	仲々, 却々
あわせて	併せて	ごとに	毎に	ながら	乍ら
…(と)いう	…(と)言う, … (と)云う	ささえる	支える	なぜ	何故
いかん, いかなる	如何(なる),	さしあたり	差当り	など, ら	等, 杯
いかに	(に)	さしつかえ	差支	ならびに	並びに
…(して)いく, ゆく	…(して)行く	さほど	早速	なるべく	成可
いくぶん	幾分	さまざま	様々	なるほど	成程
いずれ	何れ, 孰れ, いづれ	しいて	強いて	(し)にくい	…(し)難い
いたずらに	徒に	しかし	併し, 然し	はなはだ	甚だ
…(して)いただく	…(して)頂く,	しかしながら	然乍	ばかり	許り, 計
いたって……	戴く	しかも	然も, 而も	ひいて	延いて, 惹いて
いちいち	至つて	しきりに	頻りに	ひとつとおり	一通り
いちばん	一々	したがって	従つて	ページ	頁
いつ	一番	しだいに	次第に	ほう(の), (する)	方(の), (する)
いっさい	何時	しばしば	屢々, 屢次	ほう	方
いっしょに	一切	しばらく	暫く	ほかに	外に, 他に
いっせいに	一諸に	しまう	了, 終, 仕舞う	ほとんど	殆んど
いっそう	一齊に	じきに	直に	ほど	程
いったい	一層	…(し)すぎる	充分に	ほほ	略々
いったん	一体	すこぶる	…(し)過ぎる	まことに	誠に
いっばいに	一旦	すなわち	頗る	まして	況して
いっぺんに	一杯に	すばやい	即ち, 則, 乃	ますます	益々
いまだ, まだ	一偏に	すべ	素早い	またがい	又, 亦, 復
いよいよ	未だ	すみやかに	凡, 総, 全	まで	間違ひ
…(して)いる, おる	愈々	する	速やかに	ま	迄
いろいろの	居る	ずいぶん	為	ま	俣
いわゆる	色々の	ずつ	随分	みなす	看做す
…(の)うち	所謂	ぜひ	宛	むしろ	寧ろ
…(し)うる	…(の)中	そこ	是非	むずかしい, むつ	六ヶ敷い
うんぬん	…(し)得る	その, それ	其処	かしい	
おいて	云々	それぞれ	其, 夫	明りょう	明瞭
おおむね	於て	…(し)たい	夫々	もし	若し
おおよそ	概ね	たいせつ	…(し)度い	もたらす	齎す
…(して)おく	大凡, 大約	たいてい	大切	もちろん	齎論
おそい	…(して)置く	たいへん	大抵	もつ	有つて
おそらく	遅い, 晚い	たくさん	大要	もつて	以つて
おのおの	恐らく	ただし	沢山	もつたら	専ら
おのずから	各々	たちまち	唯, 只, 啻, 惟	もとより	下に, 許に
おもな	自ら	たとえ	但し	もはや	元, 素, 固より
おもむろに	主な	ため	忽ち	…(し)やすい	最早
および	徐に	だいたい	例え	やっかい	…(し)易い
…(した)おり, …	及び	だぶん	偶々, 会々	やはり	厄介
かえって	…(した), (の)	だけ	為	やむをえず	矢張り
かかる, かくして	折	だんだん	大体	やや	不得已, 止
かかわらず	却て	ちなみに	大分	ややもすれば	稍
かたい	斯る, 斯して	ちやうど	丈	ゆえに	動もすれば
かつ	拘ず	ちよつと	誰	ゆえん	故に
かつこう	硬い	ついで	段々	よい	所以
かつて	且	ついに	因みに	ようす	好い, 良い
かなり	恰好	つもり	丁度, 恰度	ように	様子, 容子
かねがね	曾て, 嘗て	ていねい	一寸, 鳥渡	ようやく	様に
かねて	勝手に	とうてい	就て, 付いて	よく	漸く
かまわない	可成	…(の)とおり	序	よほど	克く, 能く
かりに	兼々	とかく, とにかく	遂に	よって, よる	余程
かわく	予て	とき(の)	積り, 心算	りっぱ	依, 由, 因, 拠
きたす	構わない		丁寧	わかる	立派
きわめて	仮に		到底	わが	分, 判, 解る
	乾く		…(の)通り	わが	我が, 吾が
	来す		兎角	わたって	態々
	極めて		時(の)		亘つて, 渡つて